

ヨシゴイ

Ixobrychus sinensis (Gmelin)

コウノトリ目サギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

生息地であるヨシ原が減少し、個体数の減少が著しい。

形態

全長約37cm。全身淡褐色の小型のサギ。雄成鳥では頭頂がスレート色で、前頸には淡黄褐色の縦斑があるが不明瞭。翼上面には淡褐色の雨覆と黒色の風切のコントラストが著しい。雌成鳥は頭頂のスレート色の範囲が雄に比べて狭く、背の羽縁が淡色の縦斑をなし、前頸に明瞭な褐色の縦斑が本程度ある。雌雄とも虹彩は黄色。眼先の裸出部から嘴は黄色。足は黄色。

国内分布

夏鳥として全国に渡来する。北海道では少ない。西南日本では越冬例がある。

県内分布

夏鳥として渡来し、河北潟などのヨシ原で繁殖している。

生態

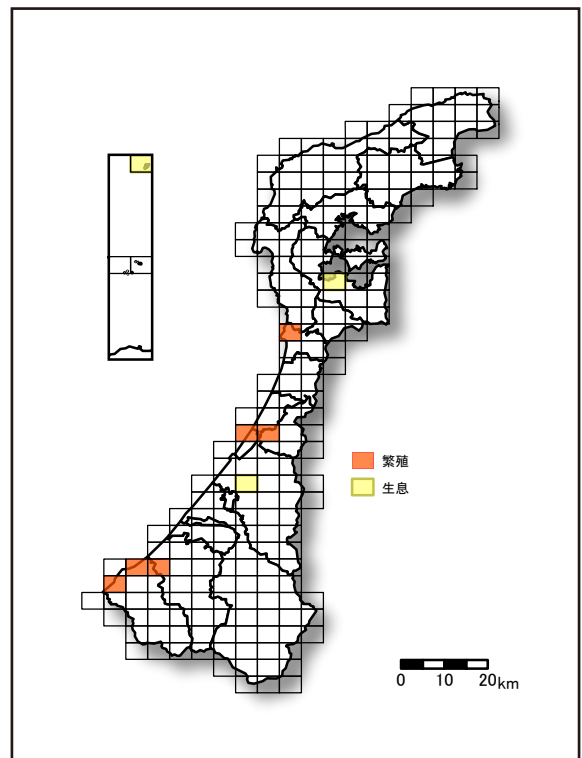
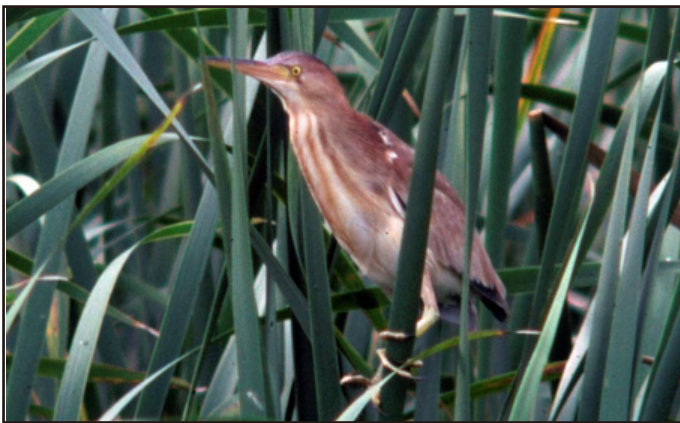
ヨシ原、水田などに身を潜め、魚、カエル、エビ、ザリガニ、昆虫、クモなどを捕食する。敵が近づくときこれに正対し、嘴を天にむけ、頸を上には伸ばして静止する動作を見せる。5~6月頃、ヨシ原やメダケなどの藪に営巣する。

生息地の条件

外敵が近づけないようなある程度広いヨシ原を必要とする。

生存の危機

生息地であるヨシ原の減少。また、釣り人などの影響も大きい。しかしそれほど環境が悪化していない場所でも減少しており、国外の越冬地での環境悪化、乱獲などが懸念されている。(A, D)



県内の分布